

PLA-54 株を利用して生産されたホスホリパーゼ A2 に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

「PLA-54 株を利用して生産されたホスホリパーゼ A2」については、平成 27 年 9 月 16 日付けで遺伝子組換え添加物の安全性審査の申請を受理したことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼添加物の概要

本申請品目は、ホスホリパーゼ A2 の生産性を向上させるため、*Aspergillus niger* GAM-53 株を宿主とし、豚の膵臓由来のプロ PLA2（プロホスホリパーゼ A2）遺伝子、*A. niger* 由来の *glaAtr*（欠失型グルコアミラーゼ）遺伝子及びリンカー配列（合成 KEX2 タンパク切断部位）を導入して得られた PLA-54 株を利用して生産されたホスホリパーゼ A2 である。本生産菌株の構築過程において、*A.nidulans* 由来の *amdS*（アセトアミダーゼ）遺伝子及びプロモーターの導入も行われるが、これらは最終的に除去され、PLA-54 株には残らない。

なお、PLA-54 株は、抗生物質耐性マーカー遺伝子を有さない。

3. 利用目的及び利用方法

本申請品目は、従来のホスホリパーゼ A2 と比較して、利用目的や利用方法に関して相違はない。

（参考）

ホスホリパーゼ A2 は、リン脂質を加水分解する酵素であり、既存添加物「ホスホリパーゼ」に該当する。